



イフジ産業の鶏卵相場予想

2022年 6月 の鶏卵相場予想

210円

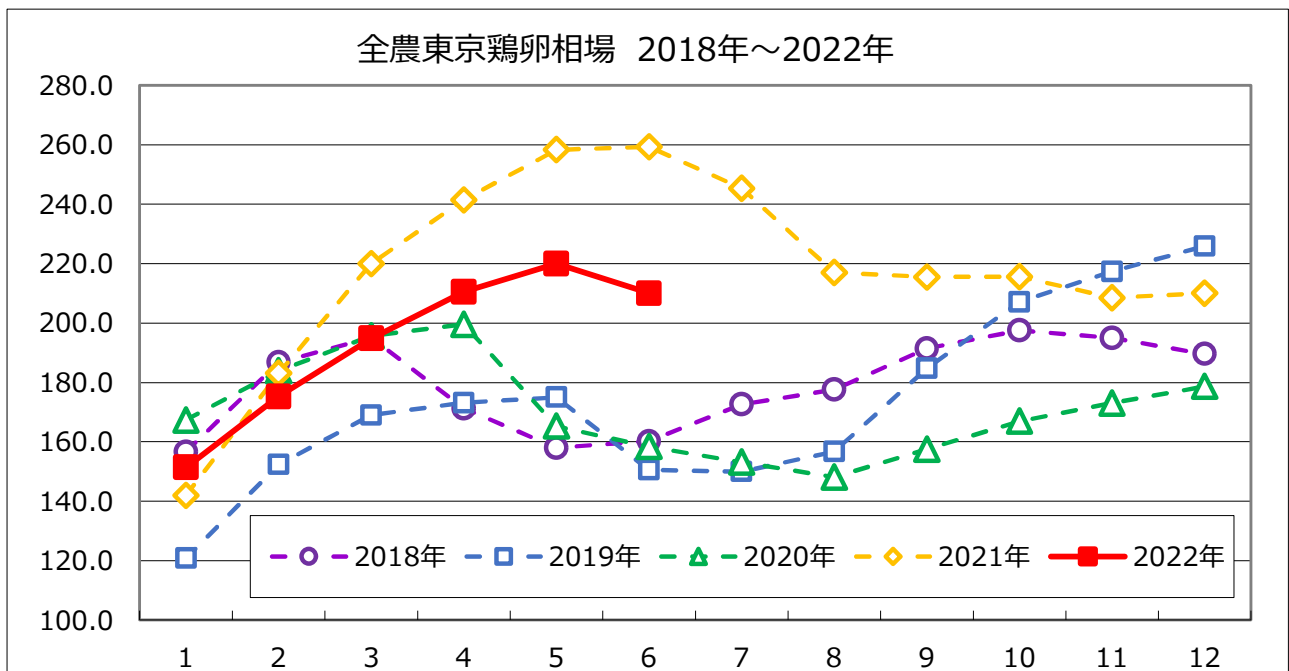
(全農東京相場LM加重平均)

5月の相場ですが、前月の相場を引き継ぎ、Lサイズ・Mサイズともに220円からスタートしました。その後、保合が続いてお
ります。(2022年5月26日時点のLM加重平均は220円)

供給面では、世界情勢悪化による穀物高騰が続いており飼料高が生産者において大きな負担となっています。加えて、燃料・
運賃・包装資材などのコスト上昇もあるため、鶏卵を取り巻く環境も様々な原料と同様に非常に厳しいものとなっています。本
来であればGW明けから気温上昇もあり需要が減退傾向となる季節ではあるものの、生産調整の影響もあり余剰感を感じら
れません。4月に発生した北海道での鳥インフルエンザの影響も一部あると思われます。需要面では、今年のGW期間は人流
回復が見られ、帰省や旅行をする人が多く、新幹線乗車率や旅行者数が前年対比で大幅に増加したデータが見受けられます。
GW明けは季節的要因で幾分か減退していると思われます。5月の月間LM加重平均は220円(2022年5月26日ま
での平均値)

さて、6月の相場予想ですが、供給面では卵重が安定し産卵に適した季節となりますので、タイトさは少し緩むかと思われま
す。しかしながら、世界情勢の悪化が回復することなく、鶏卵生産の状況は厳しい環境が続きます。一方需要面ですが、一
定の需要は見込まれるものの、気温上昇や梅雨時期にもなるため需要は減退する季節となります。よって、受給バランスから考
えると、6月は若干弱含みの展開となるのではないかと推察します。6月の月間LM加重平均は210円付近と予想いたし
ます。

しかし、海外で蔓延している鳥インフルエンザの影響で、粉卵・冷凍卵の輸入品は高騰・供給不足となり、国内品の需要が高
まる可能性があります。また、飼料価格は7月以降も大きく上昇する見通しであり、生産者への影響が大きく、減羽等による飼
料消費の抑制も考えられます。そのような状況になる場合は、供給量が逼迫し環境が一変する可能性が充分にあります。鶏卵
業界を取り巻く環境は今後も厳しいものとなっていくことが予想され、不透明な状況が続きます。



※2022年5月の相場は5月26日までの平均値。6月は予想値。
 ※予想は当社独自のものであり、あくまで予想です。
 ※この情報に関するお問い合わせ等はご遠慮ください。

Egg ×
Something =

「タマゴテック」でライフスタイルの殻を破る

